

安全データシート

作成日 2008年08月06日

改訂日 2021年06月17日

1. 化学品及び会社情報

製品の名称	DPD法粉体試薬 100袋入、徳用500袋入
製品コード	080540-501、080540-503
会社名	柴田科学株式会社
住所	埼玉県草加市中根1-1-62
担当部門	品質保証部
電話番号	048-931-7276
FAX番号	048-931-0563
推奨用途及び使用上の制限	検水中の残留塩素濃度の測定

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体 区分外 自然発火性固体 区分外 水反応可燃性化学品 区分外
健康有害性	急性毒性(経口) 区分外 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示	GHSに基づく絵表示なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	眼刺激
注意書き	

安全対策	取扱い後はよく手を洗うこと。 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
応急措置	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
保管	換気の良い場所で保管すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
pH調整剤A	<37%	非公開	非公開	非公開	非公開
pH調整剤B(クエン酸)	<13%	OHC(CH ₂ COOH) ₂ COOH	(2)-1318	既存	77-92-9
N,N-ジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩	<5%	C ₁₀ H ₁₆ N ₂ .H ₂ O ₄ S	(3)-243	既存	6283-63-2
1,2-シクロヘキサンジアミン四酢酸一水和物	<5%	[CH ₂ CH ₂ CHN(CH ₂ CO ₂ H) ₂] ₂ ·H ₂ O	不明	不明	125572-95-4
増量剤	<50%	非公開	非公開	非公開	非公開

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。 口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、散水。
特有の危険有害性	可燃性物質：燃えるが、容易に発火しない。 火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	空気式呼吸器(SCBA)を着用する。 防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 風上に留まる。 低地から離れる。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
封じ込め及び浄化の方法・機材	危険でなければ漏れを止める。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	安全取扱注意事項	排気用の換気を行うこと。 飲み込みを避けること。 皮膚との接触を避けること。 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。 眼との接触を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	接触回避 衛生対策	『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。
	安全な保管条件	保管場所には本製品を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気設備を設ける。 酸化剤から離して保管する。 容器を密閉して保管すること。
	安全な容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会(2015年版)	ACGIH(2015年版)
pH調整剤A	未設定	未設定	未設定
pH調整剤B(クエン酸)	未設定	未設定	未設定
N,N-ジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩	未設定	未設定	未設定
1,2-シクロヘキサンジアミン四酢酸一水和物	未設定	未設定	未設定
増量剤	未設定	未設定	未設定

設備対策	本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	

呼吸器の保護具	換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な手袋を着用すること。
眼の保護具	眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状态	固体
	形状	結晶性粉末。約0.1gをアルミ袋に封入
	色	白色
臭い		無臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
燃焼性(固体、気体)		難燃性
燃焼又は爆発範囲	下限	適用されない
	上限	適用されない
蒸気圧		データなし
蒸気密度(空気=1)		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。 強酸化剤と接触すると反応することがある。
化学的安定性	空気酸化により徐々に分解着色する。光により変質する。湿った空気中で僅かに潮解する。
危険有害反応可能性	過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件	日光、熱、湿気。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、窒素酸化物、イオウ酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	成分の急性毒性値は、クエン酸 3000mg/kg、pH調整剤A >2000 mg/kg、N,N-ジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩 500mg/kg、増量剤 >2000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が3994mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。(混合物の0.8%は毒性が未知の成分からなる。)
	経皮	データ不足のため分類できない。
	吸入(蒸気)	データがなく分類できない。
	吸入(粉じん)	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性		データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		クエン酸が区分2Bで、区分2Bの成分濃度の合計が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2B「眼刺激」に該当する。
呼吸器感作性		データがなく分類できない。
皮膚感作性		データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性		データがなく分類できない。
発がん性		データがなく分類できない。
生殖毒性		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データがなく分類できない。

吸引性呼吸器有害性

データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

データ不足のため分類できない。

水生環境有害性(長期間)

データ不足のため分類できない。

オゾン層への有害性

モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物・汚染容器及び包装

焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規則

Regulatory Information by Not dangerous goods

国内規制

Regulatory Information by Not dangerous goods

陸上規制

非該当

海上規制情報

非危険物

航空規制情報

非危険物

特別の安全対策

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号

重量物を上積みしない。

なし

15. 適用法令

適用される主たる法令はなし。

16. その他の情報

連絡先

柴田科学株式会社

参考文献

RTECS

ECHA C&L Inventory Database

ECHA Registered substances Database

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。